

スギ花粉発生源調査事業（拡充）

【平成20年度概算決定額 45,000（30,000）千円】

事業のポイント

花粉発生源対策に重点的に取り組むべき地域を明らかにし、花粉発生源対策を効果的に推進する観点から、人口の集中する都市部への花粉飛散に影響している地域を推定する調査を実施します。

- ・ 国民からの花粉発生源対策に対するニーズが高まっている中、少花粉スギ林や広葉樹林等への転換などの花粉発生源対策を効果的に推進していくためには、都市部へのスギ花粉飛散に影響している地域を推定し、対策の重点化を図っていくことが重要。

政策目標

平成20年度までに、4大都市圏（首都圏、中京、京阪神、北九州・福岡）へのスギ花粉の飛散に影響している発源地域を推定します。

また、平成23年度までに、新たに全国3箇所の人口の集中する都市部へのスギ花粉の飛散に影響している発源地域を推定します。

<内容>

1. 4大都市圏（首都圏、中京、京阪神、北九州・福岡）へのスギ花粉の飛散に影響している発源地域を推定します。（平成18年度～20年度）
 - ① スギ雄花の着花状況調査
花粉発源地域の推定作業に必要なスギ林の雄花着花状況調査を実施します。
 - ② 都市部への花粉飛散に影響している発源地域の推定
スギ林の分布やスギ雄花着花量、気象データ等をもとに、人口の集中する都市部への花粉飛散シミュレーションを行い、飛散の影響度合いを推定し、地域区分図を作成します。
2. 1で確立される技術を用い、新たに県庁所在地等の人口の集中する都市部（3箇所）へのスギ花粉の飛散に影響している発源地域を推定します。（平成20年度～23年度）

<委託先>

民間団体等

<事業実施期間>

平成18年度～23年度（6年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]